

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 聖心女子学院初等科

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

住所 〒108-0072

東京都港区白金4-11-1

E-mail: \_\_\_\_\_

Website: http://www.tky-sacred-heart.ed.jp/syotouka/

児童生徒数：男子 0 名 女子 636 名 合計 636 名

児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

本校では、ESDという名称を使用していない場合でも、ESDを意図した活動を年間を通じて様々な形で行っている。本校の教育理念に「一人一人がかけがえのない存在であること」、

「世界の一員としての連帯感と使命感をもって」社会に貢献する、とあり、この考え方のもとに「共に生きる、共生」の考え方を軸にして教育活動を行っている。学校全体に浸透している奉仕活動・ボランティアの考え方も、ESDの精神につながる活動ととらえることができる。

### 1. ハイチ・デー [国際理解、平和・人権、環境、気候変動]

昼食のお弁当をおにぎりなど簡素なものとし、おかず分、日頃のおこづかいの節約などで貯めたお金を募金する。1984年、ハイチより来日された日本人シスターより貧困に苦しむハイチの現状を知った児童達により始められた。児童会の活動として、全校参加で行う。

寄付金はハイチやフィリピン他、支援を必要としているアジア、アフリカの地域で働く聖心会シスターのもとに送る。困難な状況をおにぎり弁当を通して共有し、送り先の状況についても学ぶ。

7月4日、12月5日、2月27日に実施。

今年度は、4月に起きた熊本地震への復興支援募金も実施した。

### 2. 海外の姉妹校との手紙の交流 [国際理解]

聖心姉妹校の世界に広がるネットワークを活かして、姉妹校間での継続的な交流活動を行い、世界に向けて視野を広げ、お互いの文化・生活の違いや多様性に気づき、世界の一員として生きる意識を深める。英語科の授業で学んだことをもとに、英文手紙による交流を行い、関係を築くことを楽しむ。教師の指導のもとに、自己紹介、日本の生活の紹介などの手紙を書く。日本についての理解も深める。また、児童の委員会活動のひとつ、国際委員会でも日本からの発信をする。

#### 英語科授業での活動

オーストラリア FCJ College Benalla

アイルランド ダブリン Mount Anville 聖心女子学院 11月

イギリス ロンドン Farnborough Hill 11月

アメリカ サンフランシスコ Sacred Heart School, Atherton CA 6月

#### 国際委員会での活動

アイルランド ダブリン Mount Anville 聖心女子学院 11月

イギリス ロンドン Farnborough Hill 11月

アメリカ バンクーバー Clark College 11月

### 3. [環境・生物多様性]

神奈川県丹沢 山梨県清里高原において宿泊校外学習を行い、周囲の自然環境とそこに生きる生物とその多様性、森林、人間と自然の共生について学ぶ。それぞれ地域の専門家による講習を受け、実地体験をもって学ぶ。特に、清里高原では、現地ネイチャーセンターのレンジャーの指導による環境教育プログラムを行う。2年連続して初夏と秋の異なる季節に実施するこ

とで、自然の季節による変化を学ぶ。

4年生校外学習 神奈川県足柄上郡松田町 9月14日～16日

松田町教育委員会の協力を得て、周辺の自然、昆虫、小動物、植物などの生物について学ぶ。川の実習も行い、川に住む淡水生物の観察も行う。自然の中での生活体験を通して、自然を味わう感性も育む。

5年生校外学習 山梨県北杜市高根町清里 6月7日～10日

レンジャーの指導のもとに森林散策、自然観察を行い、森の自然環境、生物多様性などについて実地に学ぶ、自然教育プログラムを行う。森林から実生の若木を採取し、「ピース オブ フォレスト」として各自持ち帰り、1年後に森に戻すために、1年間自宅で育てる。自然保護、自然との共生の考え方を学び、各自の活動を通して自然保護に関わる。

地元農家の協力の下に、田植えの作業を行い、秋に稲刈りも実施する。収穫され、精米された米を食することで、農業と自然、人とのかかわり、食とのかかわりについても実地に学ぶ。

6年生校外学習 山梨県北杜市高根町清里 9月6日～10日

レンジャーの指導のもとに、ネイチャーゲームなどの環境教育プログラムを行う。5年時には初夏に訪れた地に、秋に訪れることで季節による自然の変化を学ぶ。

5年時に持ち帰ったピース オブ フォレストを持参し、森の中に植林する。児童の中には1年間育てることができず、枯らしてしまった者もあり、植物の成長の難しさ、自然と人とのかかわりの難しさについても学ぶ。

#### 4. 特別支援学校都立久我山青光学園との交流 [人権, 平和]

視覚障害のある児童・生徒との交流を通して、障害のある方々への理解を深め、共に生きる姿勢を育てる。放送委員会は、音声にかかわる活動という観点から、視覚障害のある方々との交流を行っている。

7月23日 久我山青光学園が、障害者と地域の方々との交流を深める目的で行っている夏祭りに参加。模擬店の売り子の手伝いをしながら、同行へ通う子どもたちとの親睦を深めた。

11月9日 久我山青光学園寄宿舎への訪問交流

視覚に障害があるとは、どのようなことか、障害のある方と共に生きるにはどのようにしたらよいかについて具体的に学んだ。

#### 5. 東日本大震災被災地支援 [環境、エネルギー、人権]

2016年12月、岩手県釜石市教育委員会を通じて、釜石市内幼稚園、小学校、中学校にクリスマスカードと図書券のプレゼントを贈った。初等科で約550通集まり、全校では約830通集まった。この活動は、震災の起きた2011年より継続されている。

釜石市には、保護者父親有志が春・秋に継続的にボランティアに行っており、児童・生徒も

父親と一緒に参加している。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染の被害を受けた福島県南相馬市立大甕小学校の女子児童との文通交流も初等科生有志によって継続されている。訪問の際に配布された。返信もあり、継続的な交流となってきた。

また、6月に聖心女子大学を会場にして行われる「震災復興チャリティーデー」へ有志参加をしている。今年はバザーでの買い物支援の他に、手話クラブ児童が中高手話サークル生徒と共に参加。復興への願いを込めた手話を交えた歌を発表した。

6. [国際理解] インドネシア在住の聖心会修道女の講話

インドネシアで活動する日本人修道女の来日の際に、現地での活動の様子について話を聞く朝礼行事を行った。児童のインドネシアへの親近感と理解を深める一助となった。

実施 10月18日

7. [国際理解] 音楽道具袋、辞書カバー 聖書カバーのフェアトレード品の購入

フィリピンにある聖心会が貧困に苦しむ家庭を対象にして運営している現地の幼稚園の保護者ならびに卒業生の保護者に、児童が使用する音楽道具袋(1年生)、辞書カバー、聖書カバー(5年生)の製作を委託し、フェアトレード品の購入を進めている。保護者会で意図・趣旨を説明し、保護者の理解を得て、購入を通じて経済的な自立支援に協力してもらっている。

上記6、7の活動は上記1のハイチ・デーの活動と同じ地域のものなので、児童は色々な角度から継続的に学ぶことができ、理解を深め、親近感をもってかかわることができている。共生の意識を高める重要な要素となっている。

8. [伝統文化] 能楽教室

日本の伝統文化について理解を深めるために、国語の授業、「伝統芸能」の一環として、能楽師である卒業生を招いて、実際に演じてもらい、鼓、太鼓など楽器の説明を受け、所作の体験もする。

6年生で、3月12日に実施。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(児童の委員会活動の時間、校外学習、夏休み )